

気候変動への適応とその緩和

アプローチ

世界的に喫緊の課題である気候変動は、味の素グループの事業にも多大な影響を及ぼします。気候変動の進展により、原材料の調達不全をはじめとするリスクが予想されます。味の素グループは気候変動を全社経営レベルのリスクかつ機会と捉え、対応策を検討しています。ライフサイクル全体での負荷低減を目指し、省エネ活動や再生可能エネルギー電力の利用を進めるほか、国際イニシアティブに参加し、社内外の連携を図りながら課題解決を目指します。

具体例

- ・ 温室効果ガスの排出 (Scope 1・2・3)
- ・ 生産時のエネルギー管理
- ・ 輸送時のエネルギー管理
- ・ 大気汚染への関与

関連する機会とリスク (○機会/●リスク)

- 脱炭素に向けた外部連携
- 気候変動による原材料調達不全
- 脱炭素への取り組み遅延、炭素税の負担増加による生産コスト上昇
- 気候変動への対応遅れによる企業価値毀損

味の素グループの主要な取り組み

- ・ 製品ライフサイクル全体でのカーボンニュートラルに向けた長期的な取り組み
- ・ TCFDに対応した情報開示 (シナリオ分析等)
- ・ 生産時・輸送時のエネルギー削減の取り組み
- ・ 飼料用アミノ酸による環境負荷低減 (土壌・水質汚染の低減)
- ・ 再生可能エネルギーへのシフト

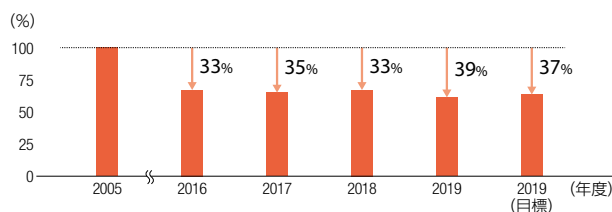
貢献するSDGsのゴール



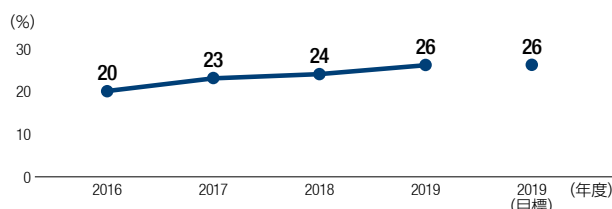
17-19中計KPI

温室効果ガスの削減

- 温室効果ガスの排出量対生産量原単位削減率 (対2005年度)



- 再生可能エネルギー利用率



20-25中計KPI

温室効果ガス排出量削減率 (対2018年度)

